

## 履修方法

### ○修士課程の履修基準(履修最低単位数)

修士課程の修了要件は以下の履修基準表のとおりです。

履修基準表

専攻	科目	① 教育の基礎に 関する科目	② 教育実践に 関する科目	③ 各専攻に關す る専門科目	④ 課題研究	⑤ 自由選択科目	計
学校教育専攻		4	6	12	4	4	30
特別支援教育専攻		4	6	16	4	0	30
教科教育専攻		4	6	12	4	4	30

備考) 各科目群のなかには、類似の科目名であっても、小学校(一部幼稚園を含む)免許のみに対応する科目と中学校(一部高等学校を含む)免許のみに対応する科目に細分化している科目があります。

- (1) 専修免許の取得を希望する学生は、主として小学校教諭専修免許状(一部幼稚園を含む)を取得する選修(以下小学校選修)か、主として中学校教諭専修免許状(一部高等学校を含む)を取得する選修(以下中・高校選修)のいずれかを入学段階で選択して履修します。但し、特別支援教育専攻特別支援教育専修、人文社会教育専修英語教育領域、生活科学教育専修技術教育領域は特定校種・教科の専修免許しか取得できないので選択することはできません。また、専修免許の取得を希望しない場合は、選修を指定しなくてよいです。
- (2) 入学後の選修の変更は、随時可能です。但し、変更した新しい選修の履修基準に従って単位を取得しなければなりません。
- (3) 専攻ごとの履修方法は、次のとおりとします。その際、選修の区別がある場合は、小学校選修は小学校教諭の課程認定を受けている科目群から履修し、中・高校選修は中学校・高等学校教諭の課程認定を受けている科目群から履修することを意味します。

#### 1) 学校教育専攻(学校教育専修)

科目区分	小学校選修	中・高校選修
① 教育の基礎に関する科目	「学校教育の理論と実践Ⅰ」および「同Ⅱ」を履修する。	
② 教育実践に関する科目	「協働実践研究Ⅰ」2単位は必修。	
	「教育実践の研究Ⅰ(小)」2単位、「教育実践の研究Ⅱ(小)」2単位、計4単位を履修する。但し、教育学コースについては、「教育実践の研究Ⅰ(小)」以外の2単位は、教科教育専攻提供の教育実践に関する科目を履修してもよい。	「教育実践の研究Ⅰ」2単位、「教育実践の研究Ⅱ」2単位、計4単位を履修する。但し、教育学コースについては、「教育実践の研究Ⅰ」以外の2単位は、教科教育専攻提供の教育実践に関する科目を履修してもよい。
③ 学校教育専攻に関する専門科目	教育学・心理学について、各コースの提供する特論を6単位以上、演習を6単位以上履修する。	教育学・心理学について、各コースの提供する特論を6単位以上、演習を6単位以上履修する。
④ 課題研究	指導教員のもとで、「課題研究Ⅰ」、「課題研究Ⅱ」の4単位を履修する。	

#### 2) 特別支援教育専攻(特別支援教育専修)

① 教育の基礎に関する科目	「学校教育の理論と実践Ⅰ」および「同Ⅱ」を履修する。
② 教育実践に関する科目	「協働実践研究Ⅰ」2単位は必修。「障害児教育の実践研究Ⅰ」～「障害児教育の実践研究Ⅴ」から、4単位を履修する。
③ 特別支援教育専攻に関する科目	「特別支援教育特論A」、「特別支援教育特論B」、「知的障害教育学特論」、「知的障害教育学特論演習」、「障害児心理学特論」、「障害児心理学特論演習」、「障害児生理・病理特論」、「障害児生理・病理特論演習」の中から6単位を含めて16単位履修する。
④ 課題研究	「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。

3) 教科教育専攻

科目区分		小学校選修	中・高校選修
① 教育の基礎に関する科目		「学校教育の理論と実践Ⅰ」および「同Ⅱ」を履修する。	
② 教育実践に関する科目	専攻共通	「協働実践研究Ⅰ」2単位は必修。	
	国語教育	「初等国語科教材開発」2単位、「初等国語科授業研究」2単位を履修する。	「国語科教材開発」2単位、「国語科授業研究」2単位を履修する。
	社会科教育	「社会科授業研究Ⅰ」2単位、「社会科教材開発Ⅰ」2単位を履修する。	「社会科授業研究Ⅱ又はⅢ」2単位、「社会科教材開発Ⅱ又はⅢ」2単位を履修する。
	英語教育	/	「英語教育授業研究」2単位、「英語教育教材開発」2単位を履修する。
	数学教育	「数学教育授業研究A」2単位、「数学教育教材開発A」2単位を履修する。	「数学教育授業研究B」2単位、「数学教育教材開発B」2単位を履修する。
	理科教育	「理科教育実践研究A1」2単位、「理科教育実践研究A2」2単位を履修する。	「理科教育実践研究B1」2単位、「理科教育実践研究B2」2単位を履修する。
	音楽教育	「音楽科授業研究A」2単位、「音楽科教材開発A」2単位を履修する。	「音楽科授業研究B」2単位、「音楽科教材開発B」2単位を履修する。
	美術教育	「幼小美術教育授業研究」2単位、「幼小美術教育教材開発」2単位を履修する。	「美術教育授業研究」2単位、「美術教育教材開発」2単位を履修する。
	技術教育	/	「技術教育授業研究」2単位、「技術教育教材開発」2単位を履修する。
	家政教育	「小学校家政教育授業研究」2単位、「小学校家政教育教材開発」2単位を履修する。	「家政教育授業研究」2単位、「家政教育教材開発」2単位を履修する。
保健体育	「保健体育科授業研究A」2単位、「保健体育科教材開発A」2単位を履修する。	「保健体育科授業研究」2単位、「保健体育科教材開発」2単位を履修する。	
③ 教科教育専攻に関する専門科目	国語教育	「初等国語教育特別研究ⅠA・ⅠB」各2単位を含めて12単位以上を履修する。	「国語教育特別研究ⅠA・ⅠB」各2単位を含めて12単位以上を履修する。
	社会科教育	12単位以上を選択履修する。	12単位以上を選択履修する。
	英語教育	/	「英語科教育研究Ⅰ」2単位、「英語科教育研究Ⅱ」2単位の計4単位を必修とし、英語学及び英米文学の分野より4単位以上を選択履修する。

③ 教科教育専攻に関する専門科目	数学教育	分野共通専門科目4単位を含めて12単位以上を履修すること。	分野共通専門科目4単位を含めて12単位以上を履修すること。
	理科教育	12単位以上を選択履修する。	12単位以上を選択履修する。
	音楽教育	「音楽科教育特論A」2単位、「音楽科教育特論演習A」2単位の計4単位を必修とし、そのほかに、各分野より8単位以上を選択履修する。	「音楽科教育特論B」2単位、「音楽科教育特論演習B」2単位の計4単位を必修とし、そのほかに、各分野より8単位以上を選択履修する。
	美術教育	12単位以上を選択履修する。	12単位以上を選択履修する。
	技術教育		「技術科教育特論Ⅰ，Ⅱ」(4単位)を含めて12単位以上を履修する。
	家政教育	「小学校家庭科教育特論Ⅰ」2単位、「小学校家庭科教育特論Ⅱ」2単位の計4単位を必修とし、そのほかに各分野より8単位以上を選択履修する。	「家庭科教育特論Ⅰ」2単位、「家庭科教育特論Ⅱ」2単位の計4単位を必修とし、そのほかに各分野より8単位以上を選択履修する。
	保健体育専修	「保健体育科教育特論ⅠA、ⅡA」4単位を必修とし、その他の分野より8単位以上を選択履修する。	「保健体育科教育特論Ⅰ，Ⅱ」4単位を必修とし、その他の分野より8単位以上を選択履修する。
④ 課題研究	国語教育	「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。	
	社会科教育	「課題研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」各1単位、合計4単位を履修する。	
	英語教育		「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。
	数学教育	「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。	
	理科教育	「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。	
	音楽教育	「課題研究Ⅰ」「課題研究Ⅱ」「課題研究Ⅲ」「課題研究Ⅳ」各1単位、合計4単位を履修する。	
	美術教育	「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。	
	技術教育		「課題研究Ⅰ」「課題研究Ⅱ」「課題研究Ⅲ」「課題研究Ⅳ」各1単位、合計4単位を履修する。
	家政教育	「課題研究Ⅰ」「課題研究Ⅱ」「課題研究Ⅲ」「課題研究Ⅳ」各1単位、合計4単位を履修する。	
保健体育専修	「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を履修する。		

注:別校種・教科の専修免許を希望する場合は、当該校種・教科の一種免許を取得しており、かつ当該校種・教科用に開設されている授業科目から、専修免許状取得に必要な教科または教職に関する科目24単位を満たすよう修得すること。

#### 4. 教員免許（90ページ「別表」参照）

##### 1) 取得できる免許状の種類

本研究科において取得できる専修免許状は、別表教員免許状のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有する必要があります。

##### 2) 免許状取得のための必要単位数

- ① 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状取得のためには、各専修の教科又は教職に関する科目から24単位以上修得しなければなりません。
- ② 特別支援学校教諭免許状取得のためには、特別支援教育に関する科目から24単位以上修得しなければなりません。
- ③ 教科教育専攻において、別校種・教科の専修免許を希望する場合は、当該校種・教科の一種免許を取得しており、かつ当該校種・教科用に開設されている授業科目から、専修免許状取得に必要な教科または教職に関する科目24単位を満たすよう修得すること。

#### 5. 修了要件

課程の修了のためには次の要件を満たす必要があります。

- 1) 標準修業年限:標準修業年限は2年とします。なお、学生は4年を超えて在学することはできません。
- 2) 修得単位数:学生は前述の履修基準に従って、修了要件単位を修得しなければなりません。
- 3) 学位論文等:修士課程の場合は、学位を請求するための論文または特定課題研究報告書を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければなりません。

#### 6. 学 位

学校教育専攻、特別支援教育専攻及び教科教育専攻の課程修了者には、修士(教育学)の学位を授与します。



別表(教員免許状の種類)

専攻	専修	取得できる専修免許状	
		種類	教科(又は領域)
学校教育	学校教育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語 国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 保健体育, 家庭, 工業, 英語, 情報
特別支援教育	特別支援教育	特別支援学校教諭専修免許状	(知的障害者)・(肢体不自由者)・(病弱者)
教科教育	国語教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国語 国語
	社会科教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 地理歴史, 公民
	数学教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	数学 数学
	理科教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科 理科
	音楽教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	音楽 音楽
	美術教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	美術 美術, 工芸
	保健体育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	保健体育 保健体育
	技術教育	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	技術 工業
	家政教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	家庭 家庭
	英語教育	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	英語 英語

## 授業科目一覧

### (1) 修士課程 共通科目

授 業 科 目		単 位	概 要	教職課程
教育の基礎に関する科目	学校教育の理論と実践Ⅰ	2	(1) 学校教育と教員のあり方, (2) 教育課程・教育方法, (3) 道德教育に関して, 基礎理論を取り上げるとともに実践的・現実的な観点から考究する。	幼小中高
	学校教育の理論と実践Ⅱ	2	(1) 子ども理解と学級経営, (2) 生徒指導・教育相談, (3) 特別支援教育に関して, 基礎理論を理解し, 実践的・現実的な観点から, 専門領域の垣根を越えて討議することで, 学際的な学びを行う。	幼小中高
教育実践に関する科目	協働実践研究Ⅰ	2	多様な教員による協働を意識しつつ, 受講者がコースや分野の垣根を越えて研究授業や児童生徒支援などの教育活動を構想・企画・実施・事後省察することで, 理論と実践を往還させた学びを実現する。	幼小中高
	協働実践研究Ⅱ	2	Ⅰの後継科目として, 受講者が今日の沖縄の教育に即した具体的な課題を設定し, 再び授業内外の活動に取り組み, 同僚としての協働性を土台としながら理論と実践を往還させた高度な学びを実現する。	幼小中高

### (2) 学校教育専攻 (学校教育専修)

コース	分野	授 業 科 目	単 位	概 要	教職課程
教育 学 コ ー ス	教育学 (教育史)	教育史特論	2	現代教育の思想やその背景を歴史的に解明する。	幼小中高
		教育史特論演習	2	近代の教育思想史に関する基本的文献資料を選定し, 検討する。	幼小中高
		教育哲学特論	2	近代の教育と教育学の理論的諸問題について批判的に検討する。	幼小中高
		教育哲学特論演習	2	教育哲学・教育思想に関する重要文献を講読し, それをもとに今日の教育課題について批判的に検討する。	幼小中高
	学 校 経 営	教育行政学特論	2	教育と教育行政の基本原則, その歴史的考察, 国際的動向などについて取り上げ, 教育と教育行政の理論的・実践的課題を解明する。	幼小中高
		教育行政学特論演習	2	教育行政, 教育政策, 教育法などに関する文献講読を通して, 教育と教育行政の重要問題を考察する。	幼小中高
		学校経営学特論	2	学校経営に関する基本原則, その歴史的考察, 国際的動向などについて取り上げ, 学校経営の理論的課題, 実践的課題を解明する。	幼小中高
		学校経営学特論演習	2	教育行政, 教育法, 学校経営などに関する文献講読を通して, 学校経営についての重要問題を検討する。	幼小中高

コース	分野	授 業 科 目	単位	概 要	教職課程
教 育 学 コ ー ス	図書館情報学	学校図書館メディア特論	2	様々な情報メディアの特性や、それらに蓄積された情報を保存し利用するシステムとしての図書館をとり上げ、学校教育における視点から考察する。	幼小中高
		学校図書館メディア特論演習	2	情報メディアや図書館情報システムに関する文献の講読とともに、情報社会の諸問題や公共図書館及び学校図書館の理論的・実践的課題について検討する。	幼小中高
	教育社会学	教育社会学特論	2	教育社会学に関する理論を検討する。	幼小中高
		教育社会学特論演習	2	教育社会学に関する理論を検討する。	幼小中高
	教育方法学	教育方法学特論Ⅰ	2	カリキュラム論、資質能力論、教育評価論など教育方法学に関する諸問題を検討する。	幼小中高
		教育方法学特論演習Ⅰ	2	教育方法学の最新動向を踏まえ、文献研究を中心に比較検討する。	幼小中高
		教育方法学特論Ⅱ	2	教育課程、学力、学習指導など教育方法学に関する諸問題について検討する。	幼小中高
		教育方法学特論演習Ⅱ	2	小学校に関わる教育方法学の最近の研究動向を中心に、文献を読みながら理解を深める。	幼小中高
		総合学習特論	2	総合学習の目標・内容・方法について、理論と実践を交えて検討する。	小中高
		総合学習特論演習	2	総合学習の理論と具体的な実践例を中心に比較検討する。	小中高
	教道 育徳	道徳教育特論	2	道徳教育思想を中心に道徳教育理論について検討する。	小中
		道徳教育特論演習	2	道徳教育に関する文献を講読し、道徳教育の理論的および実践的あり方について検討する。	小中
	教幼 育児	幼児教育特論	2	幼児教育に関する専門的な理解を深めるとともに、日本の幼児教育の課題について考察する。	幼
		幼児教育特論演習	2	幼児教育の実践・保育内容・制度に関する研究動向を考察する。	幼
心 理 学 コ ー ス	分教育・発達心理学 分野学	教育心理学特論	2	教育における諸問題について、教師と児童・生徒の関係に関する心理学理論を中心に検討する。	幼小中高
		教育心理学特論演習	2	教育心理学における学習と発達に関する文献を講読し、これらの研究の教育実践に対する有効性について考察する。	幼小中高
		キャリア発達特論	2	キャリア発達とキャリア教育に関する心理学的見地からの、理論・研究について検討する。	小中高
		キャリア発達特論演習	2	キャリア発達とキャリア教育に関する心理学的見地からの、理論・研究について演習（実習）を行う。	小中高

コース	分野	授 業 科 目	単 位	概 要	教職課程
心 理 学 コ ー ス	分 教 育 ・ 発 達 心 理 学 野 学	学習心理学特論	2	学習心理学における理論と応用について検討する。	幼小中高
		学習心理学特論演習	2	学習心理学に関する内外の文献を講読する。	幼小中高
		学校臨床心理学特論	2	学校臨床における諸問題について、心理学的に論ずる。	幼小中高
		学校臨床心理学特論演習	2	学校臨床心理学に関する内外の文献を講読する。	幼小中高
		言語心理学特論	2	言語の学習・発達の基礎について論ずる。	幼小中高
		児童心理学特論	2	子どもの社会性の発達について社会的認知理論の立場から論ずる。	幼小中高
		児童心理学特論演習	2	子どもの社会的行動の発達に関する内外の文献を講読する。	幼小中高
コ ー ス 共 通	教 育 実 践 に 関 す る 科 目	教育実践の研究Ⅰ	2	教育学の視点から中・高校の教育実践について研究する。	中高
		教育実践の研究Ⅰ（小）	2	教育学の視点から小学校の教育実践について研究する。	幼小
		教育実践の研究Ⅱ	2	心理学の視点から中・高校教育実践について研究する。	中高
		教育実践の研究Ⅱ（小）	2	心理学の視点から幼小教育実践について研究する。	幼小
	課 題 研 究	課題研究Ⅰ	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。	幼小中高
		課題研究Ⅱ	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。	幼小中高

(3) 特別支援教育専攻（特別支援教育専修）

分野	区分	授 業 科 目	単位	概 要
分野 共通 （特別支援教育専攻に関する専門科目）	専 門 基 礎 領 域	特別支援教育特論A	2	特別支援教育の背景、基本的理念及びその特徴等、特別支援教育に関する基礎的・原理的事項について論じる。
		特別支援教育特論B	2	特別支援教育の基礎的知識を踏まえ、教育現場における特別支援教育の実践に関連する取り組みについて考察する。
		知的障害教育学特論	2	知的障害者教育を中心に日本及び沖縄県の歴史的展開や実態の検討を通して、今後の「特別支援教育」の課題を論究する。
		知的障害教育学特論演習	2	障害者教育の歴史や実態に関する文献の講読を行い、それらの論点及び研究方法について検討する。
		障害児心理学特論	2	障害児の行動全般について心理学的視点から考察し、障害の理解と支援の方法について考究する。
		障害児心理学特論演習	2	障害児の行動全般について発達の視点から考察し、発達過程に即した支援の方法について考究する。
		障害児生理・病理特論	2	障害児の生理及び病理的特性について文献などを参考にしながら具体的に論じる。
	専 門 実 践 領 域	障害児療育特論	2	障害児の乳幼児期における発達の過程及び特性を把握し、家庭や療育機関における支援の方法について考究する。
		軽度発達障害児支援特論	2	軽度発達障害の発達の特徴をおさえ、本質的な問題と成長過程に生じる2次的な問題における支援の在り方について考察する。
		個別移行支援計画特論	2	個別の教育支援計画及びその一部である個別移行支援計画について検討し、障害児への移行支援の在り方について考究する。
		職業リハビリテーション特論	2	障害児・者の職業リハビリテーションに関する文献を講読し、就業と社会参加のための方法論を考究する。
		地域支援ネットワーク特論	2	ケアマネジメントに関する文献を講読し、学校と地域の関係機関との連携を前提としたチームアプローチによる障害児・障害者支援の在り方について考究する。
		特別支援組織教育学	2	特別支援教育における関係諸機関との連携の在り方や方法論について具体的に論じる。
		障害児臨床心理学特論	2	関係性の形成と認知発達を視野に入れた療育や適応支援、自我形成過程から捉えた内的世界の臨床心理学的支援について考察する。

分野	区分	授 業 科 目	単位	概 要
分 野 外	教育実践に関する科目	障害児教育の実践研究Ⅰ	2	障害児の教育に関わる教育課程及び教育方法等について、実践的検討を行う。
		障害児教育の実践研究Ⅱ	2	発達障害児の心理学的理解及び発達支援に関する文献・実践研究。
		障害児教育の実践研究Ⅲ	2	障害児の病理及び生理学的特性に基づいた実践的研究。
		障害児教育の実践研究Ⅳ	2	障害児の進路学習の授業方法や進路指導の実践の在り方について考究し、方法論を討議する。
		障害児教育の実践研究Ⅴ	2	障害児の支援を行う上での環境や資源、及び対象や状態像等を考慮した支援方針及び心理臨床の実践について考究する。
	課題研究	課題研究ⅠA(知的障害教育)	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。
		課題研究ⅠB(知的障害教育)	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。
		課題研究ⅠC(重複・LD領域)	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。
		課題研究ⅠD(知的障害教育)	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。
		課題研究ⅠE(重複・LD領域)	2	特定の研究テーマを設定し、指導教員の下で研究を深める。
		課題研究ⅡA(知的障害教育)	2	発達障害児の心理学的理解及び発達支援に関する文献・実践研究。
		課題研究ⅡB(知的障害教育)	2	障害児の支援を行う上での環境や資源、及び対象や状態像等を考慮した支援方針及び心理臨床の実践について考究する。
		課題研究ⅡC(重複・LD領域)	2	障害児の病理及び生理学的特性に基づいた実践的研究。
		課題研究ⅡD(知的障害教育)	2	障害児の進路学習の授業方法や進路指導の実践の在り方について考究し、方法論を討議する。
課題研究ⅡE(重複・LD領域)	2	関係性の形成と認知発達を視野に入れた寮育や適応支援、自我形成過程から捉えた内的世界の臨床心理学的支援について考察する。		

(4) 教科教育専攻

1) 人文社会教育専修

i) 国語教育領域

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
国 語 学	日本語学特論 I A	2	現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する理論的・歴史的研究についての講義。	中高
	日本語学特論 I B	2		中高
	日本語学特論演習 I A	2	現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する演習。	中高
	日本語学特論 II A	2	日本語の音韻・文法・語彙に関する日本語史的研究についての講義。	中高
	日本語学特論 II B	2		中高
	日本語学特論演習 II A	2	日本語の音韻・文法・語彙に関する日本語史的演習。	中高
	日本語学特論 I C	2	現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する理論的・歴史的研究についての講義。	中高
	日本語学特論 I D	2		中高
	日本語学特論演習 I B	2	現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する演習。	中高
	日本語学特論 II C	2	日本語の音韻・文法・語彙に関する日本語史的研究についての講義。	中高
	日本語学特論 II D	2		中高
	日本語学特論演習 II B	2	現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する演習。	中高
	言語事項特論 I A	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙について専門的見地から講義する。	小
	言語事項特論 I B	2		小
	言語事項特論演習 I A	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する調査・報告を行う。	小
	言語事項特論 II A	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙について専門的見地から講義する。	小
	言語事項特論 II B	2		小
	言語事項特論演習 II A	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する調査・報告を行う。	小
	言語事項特論 I C	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙について専門的見地から講義する。	小
	言語事項特論 I D	2		小
言語事項特論演習 I B	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する調査・報告を行う。	小	
言語事項特論 II C	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙について専門的見地から講義する。	小	
言語事項特論 II D	2		小	

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
国語学	言語事項特論演習ⅡB	2	幼少期の言語のありように目配りしつつ、現代語および方言の音韻・文法・語彙に関する調査・報告を行う。	小	
	言語文化特論ⅠA	2	口承文芸を含むさまざまな言語文化に関して、比較研究の視点をまじえた専門的見地から講義する。	中高	
	言語文化特論ⅠB	2		中高	
	言語文化特論ⅡA	2		中高	
	言語文化特論ⅡB	2		中高	
	言語文化特論演習Ⅰ	2	口承文芸及び民俗文化について、その資料収集と分析を通して文化理解の方法を学ぶ。	中高	
	言語文化特論演習Ⅱ	2		中高	
	地域言語文化特論ⅠA	2	口承文芸を含むさまざまな地域言語文化に関して、比較研究の視点をまじえた専門的見地から講義する。	小	
	地域言語文化特論ⅠB	2		小	
	地域言語文化特論ⅡA	2		小	
	地域言語文化特論ⅡB	2		小	
	地域言語文化特論演習Ⅰ	2	地域言語文化に関する資料の収集と分析を通して文化理解の方法を学ぶ。	小	
	地域言語文化特論演習Ⅱ	2		小	
	国文学	日本古典文学特論ⅠA	2	日本古典文学に関する重要な研究課題について専門的見地から講義する。	中高
		日本古典文学特論ⅠB	2		中高
		日本古典文学特論ⅡA	2		中高
日本古典文学特論ⅡB		2	中高		
日本古典文学特論演習Ⅰ		2	日本古典文学に関する基本文献及び関連資料の講読・分析を通して作品の読解・批評能力を養成する。	中高	
日本古典文学特論演習Ⅱ		2		中高	
伝統的な言語文化特論ⅠA		2	伝統的な言語文化に関する重要な研究課題について専門的見地から講義する。	小	
伝統的な言語文化特論ⅠB		2		小	
伝統的な言語文化特論ⅡA		2		小	
伝統的な言語文化特論ⅡB		2		小	
伝統的な言語文化特論演習Ⅰ		2	伝統的な言語文化に関する基本文献及び関連資料の講読・分析を通して作品の読解・批評能力を養成する。	小	
伝統的な言語文化特論演習Ⅱ		2		小	
日本近代文学特論ⅠA		2	日本近代文学に関する重要な研究課題について専門的見地から講義する。	中高	
日本近代文学特論ⅠB		2		中高	
日本近代文学特論ⅡA		2		中高	
日本近代文学特論ⅡB		2		中高	
日本近代文学特論演習Ⅰ	2	日本近代文学の代表的作品を取り上げ、その講読・分析を通して読解・批評能力を養成する。	中高		
日本近代文学特論演習Ⅱ	2		中高		



分野	授業科目	単位	概要	教職課程
国文学	現代文学特論ⅠA	2	現代の文学に関する重要な研究課題について専門的見地から講義する。	小
	現代文学特論ⅠB	2		小
	現代文学特論ⅡA	2		小
	現代文学特論ⅡB	2		小
	現代文学特論演習Ⅰ	2	現代を代表する文学作品を取り上げ、その講読・分析を通して読解・批評能力を養成する。	小
	現代文学特論演習Ⅱ	2		小
漢文学	漢文学特論ⅠA	2	中国文学及び日本漢文学に関する重要問題について、専門的見地から講義する。	中高
	漢文学特論ⅠB	2		中高
	漢文学特論演習Ⅰ	2	中国文学及び日本漢文学に関する基本文献及び関連資料の講読・分析を通して作品の読解・批評能力を養成する。	中高
	漢文学特論ⅡA	2	中国哲学及び日本漢学に関する重要問題について、専門的見地から講義する。	中高
	漢文学特論ⅡB	2		中高
	漢文学特論演習Ⅱ	2	中国哲学及び日本漢学に関する基本文献及び関連資料の講読・分析を通して作品の読解・批評能力を養成する。	中高
	漢字文化特論ⅠA	2	漢字文化に関する重要問題について、専門的見地から講義する。	小
	漢字文化特論ⅠB	2		小
	漢字文化特論演習Ⅰ	2	漢字文化に関する基本文献及び関連資料の講読・分析を通して作品の読解・批評能力を養成する。	小
	漢字文化特論ⅡA	2	漢字教育に関する重要問題について、専門的見地から講義する。	小
	漢字文化特論ⅡB	2		小
	漢字文化特論演習Ⅱ	2	漢字教育に関する基本文献及び関連資料の講読・分析を通して作品の読解・批評能力を養成する。	小
国語科教育	国語科教育特論ⅠA	2	国語教育について、①「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域における教材開発と授業論、②「教育と表現」をめぐる諸問題、③近代以降の綴り方・作文教育史、といった見地から講義する。	中高
	国語科教育特論ⅠB	2		中高
	国語科教育特論演習Ⅰ	2	国語教育における「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の、学習者・教材・授業をめぐる諸問題について探究する。	中高
	国語科教育特論ⅡA	2	国語教育について、①「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の領域における教材開発と授業論、②文学教育の諸理論についての歴史的・原理的考察、といった見地から講義する。	中高
	国語科教育特論ⅡB	2		中高
	国語科教育特論演習Ⅱ	2	国語教育における「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の、学習者・教材・授業をめぐる諸問題について探究する。	中高
	初等国語科教育特論ⅠA	2	初等段階の国語教育について、①「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域における教材開発と授業論、②「教育と表現」をめぐる諸問題、③近代以降の綴り方・作文教育史、といった見地から講義する。	小
	初等国語科教育特論ⅠB	2		小

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
国語科教育	初等国語科教育特論演習Ⅰ	2	初等段階の国語教育における「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の、学習者・教材・授業をめぐる諸問題について探究する。	小	
	初等国語科教育特論ⅡA	2	初等段階の国語教育について、①「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の領域における教材開発と授業論、②文学教育の諸理論についての歴史的・原理的考察、といった見地から講義する。	小	
	初等国語科教育特論ⅡB	2		小	
	初等国語科教育特論演習Ⅱ	2	初等段階の国語教育における「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の、学習者・教材・授業をめぐる諸問題について探究する。	小	
共通	国語教育特別研究ⅠA	2	国語教育の指導諸分野を言語文化の観点から総合的に研究するとともに、そこで選ばれた教材に即し、授業の計画、形態、方法等について理論的実践的研究を行う。	中高	
	国語教育特別研究ⅠB	2		中高	
	初等国語教育特別研究ⅠA	2	初等段階の国語教育の指導諸分野を言語文化の観点から総合的に研究するとともに、そこで選ばれた教材に即し、授業の計画、形態、方法等について理論的実践的研究を行う。	小	
	初等国語教育特別研究ⅠB	2		小	
分野外	教育実践に関する科目	国語科教材開発	2	「国語学力」をめぐる諸問題、今日の子どもの言語文化と発達をめぐる諸問題を踏まえ、教材開発の理論と実践について研究する。	中高
		初等国語科教材開発	2	「国語学力」をめぐる諸問題、今日の子どもの言語文化と発達をめぐる諸問題を踏まえ、教材開発の理論と実践について研究する。	小
		国語科授業研究	2	学習内容の追究、学習者の学習意識や意欲の把握など、授業分析論を基盤として、教授法を検討する。	中高
		初等国語科授業研究	2	学習内容の追究、学習者の学習意識や意欲の把握など、授業分析論を基盤として、初等国語の教授法を検討する。	小
	課題研究	課題研究Ⅰ	2	専修内の諸特定課題に対し、文献研究・フィールドワーク等を通して修士論文の作成指導を行う。	
		課題研究Ⅱ	2		

ii) 社会科教育領域

分野	授 業 科 目	単位	概 要	教職課程	
歴	歴史学特論ⅠA(日本史)	2	日本前近代史上の重要な諸問題を地域史を中心に考察を深める。特に琉球・沖縄という地域の政治・外交・社会等に焦点をあてることによって日本史・琉球史の特質を考察する。	小	
	歴史学特論ⅠB(日本史)	2		中高(地歴)	
史	歴史学特論演習ⅠA(日本史)	2	日本および琉球の前近代史(主に中世・近世)に関する重要史料を授業実践に活用し得るようにする。	小	
	歴史学特論演習ⅠB(日本史)	2		中高(地歴)	
	歴史学特論演習ⅠC(琉球史)	2		小	
	歴史学特論演習ⅠD(琉球史)	2		中高(地歴)	
	歴史学特論ⅡA(東アジア史)	2		唐宋時代以降の中国の社会と経済について、家族、農村市場、小都市、専制国家の地方統治などの観点から検討し、世界史における中国文明の位置を理解する。	小
歴史学特論ⅡB(東アジア史)	2	中高(地歴)			
学	歴史学特論演習ⅡA(東アジア史)	2	中国前近代に生成した史籍の読解と諸論点の調査討議を通じて、外国史の研究に必要な技法と方法論を学び、教員にふさわしい自立的な実践力を構築する。	小	
	歴史学特論演習ⅡB(東アジア史)	2		中高(地歴)	
	歴史学特論演習ⅡC(東アジア史)	2		小	
	歴史学特論演習ⅡD(東アジア史)	2		中高(地歴)	
地	人文地理学特論Ⅰ	2	近世～現代の環太平洋地域における地域変容について、人口移動や商品流通に注目し検討する。	小	
	人文地理学特論Ⅱ	2		中高(地歴)	
	人文地理学特論演習A	2	受講生の論文作成に役立つ参考文献を選び、研究目的、資料分析、調査方法、論文構成、論文展開、結論の導き方について考察し、論文作成の姿勢と能力を養う。	小	
	人文地理学特論演習B	2		中高(地歴)	
	人文地理学特論演習C	2		小	
	人文地理学特論演習D	2		中高(地歴)	
	理	人文地理学野外調査A	2	特定地域を選定し、野外調査と資料収集を通じて実践的な地域調査法を習得する。さらに野外において収集された情報や資料を論文作成に向けて分析・総合する能力を培う。	小
		人文地理学野外調査B	2		中高(地歴)
		人文地理学野外調査C	2		小
		人文地理学野外調査D	2		中高(地歴)
学	自然地理学特論Ⅰ	2	自然地理学の諸分野のうち、近年とりわけ注目されている地球環境科学に関連する分野について理解を深める。	小	
	自然地理学特論Ⅱ	2		中高(地歴)	
	自然地理学特論演習A	2	自然地理学の最新の動向を把握・理解するため国際ジャーナルに掲載されている論文をもとに討議する。	小	
	自然地理学特論演習B	2		中高(地歴)	
	自然地理学特論演習C	2		小	
	自然地理学特論演習D	2		中高(地歴)	

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
地理学	自然地理学野外調査A	2	研究論文を作成するために必要になる，自然地理学の専門的な野外調査（観察・観測）技術を習得する。	小
	自然地理学野外調査B	2		中高（地歴）
	自然地理学野外調査C	2		小
	自然地理学野外調査D	2		中高（地歴）
政治学	政治学特論ⅠA	2	議会の立法機能の計画化並びに行政の肥大化及び自律化に関連する研究を吟味することによって，現代国家の政治行政的特質を把握し，その民主化，合理化への改革の根拠となっている議論を検討する。	小
	政治学特論ⅠB	2		中高（公民）
	政治学特論演習ⅠA	2	近年の中央地方関係に関する理論的研究及び実証的研究を検討しつつ，地方自治の実態調査，比較分析等を行い，地方自治の現代的意義と可能性を考える。	小
	政治学特論演習ⅠB	2		中高（公民）
経済学	経済学特論A	2	特化構造形成論や世界システム論等の理論仮説を吟味しながら，世界経済の構造と歴史を検討する。	小
	経済学特論B	2		中高（公民）
	経済学特論演習ⅠA	2	現代の世界経済について，実態調査報告書や国際比較統計等を活用しながら検討する。	小
	経済学特論演習ⅠB	2		中高（公民）
	経済学特論演習ⅠB	2		小
	経済学特論演習ⅡB	2		中高（公民）
社会学	社会学特論A	2	社会学の重要な諸文献を検討することを通じて，社会学的認識方法を習得することを目指す。	小
	社会学特論B	2		中高（公民）
	社会学特論C	2		小
	社会学特論D	2		中高（公民）
	社会学特論演習A	2	社会学的な研究を進めていく上での諸局面について学び，社会学的な論文を作成する力を高めることを目指す。	小
	社会学特論演習B	2		中高（公民）
	社会学特論演習C	2		小
	社会学特論演習D	2		中高（公民）
哲学	哲学特論A	2	哲学史を概観し，主要な哲学的見解について検討する。また，哲学のテキストだけでなく，さまざまな題材を通じて思索する方法も学ぶ。	小
	哲学特論B	2		中高（公民）
	哲学特論C	2		小
	哲学特論D	2		中高（公民）
	哲学特論演習A	2	哲学の主要な文献を講読しながら，あわせて原書も参照しつつ，哲学的な解釈や議論の方法について理解を深める。西洋哲学だけでなく，日本の思想についても扱う。	小
	哲学特論演習B	2		中高（公民）
	哲学特論演習C	2		小
	哲学特論演習D	2		中高（公民）

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
社会科教育	社会科教育特論ⅠA	2	社会科教育の目的、内容構成、授業方法等を検討し、社会科教育の成果と課題を追求する。	小	
	社会科教育特論ⅠB	2		中高（地歴）	
	社会科教育特論ⅠC	2		小	
	社会科教育特論ⅠD	2		中高（公民）	
	社会科教育特論演習ⅠA	2	社会科の成立と展開に関わる重要な資料を検討する。	小	
	社会科教育特論演習ⅠB	2		中高（地歴）	
	社会科教育特論演習ⅠC	2		小	
	社会科教育特論演習ⅠD	2		中高（公民）	
	社会科教育特論ⅡA	2	社会科教育の国際化を考慮した実践例をとりあげ研究を行う。	小	
	社会科教育特論ⅡB	2		中高（地歴）	
	社会科教育特論ⅡC	2		小	
	社会科教育特論ⅡD	2		中高（公民）	
	社会科教育特論演習ⅡA	2	社会科教育に関する地域教材・授業開発に関する事例研究を行う	小	
	社会科教育特論演習ⅡB	2		中高（地歴）	
	社会科教育特論演習ⅡC	2		小	
	社会科教育特論演習ⅡD	2		中高（公民）	
	地域学習特論A	2	地域（特に沖縄）学習について講義する。	小	
	地域学習特論B	2		中高（公民）	
	地域学習演習A	2	地域学習特論の講義に関する演習を行う。	小	
	地域学習演習B	2		中高（地歴）	
分野外	教育実践に関する科目	社会科授業研究Ⅰ	2	いくつかの優れた社会科実践や具体的な教材を取り上げ、その分析を試みさせる。	小
		社会科授業研究Ⅱ	2	〃	中高（地歴）
		社会科授業研究Ⅲ	2	〃	中高（公民）
		社会科教育教材開発Ⅰ	2	社会科教材の創造と活用について探求する。	小
		社会科教育教材開発Ⅱ	2	〃	中高（地歴）
		社会科教育教材開発Ⅲ	2	〃	中高（公民）
	課題研究	課題研究Ⅰ	1	専修内の諸特定課題に対し、文献研究、データ分析、調査、実践等を通して、修士論文の作成指導にあたる。	
		課題研究Ⅱ	1		
		課題研究Ⅲ	1		
		課題研究Ⅳ	1		

iii) 英語教育領域

(注) 原則として科目名の「Ⅰ」は前学期、「Ⅱ」は後学期開講とする。

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
英語学	英語学特論Ⅰ	2	英語統合論、音韻論を主として生成文法理論に基づいて、体系的に考察、論述する。	中高
	英語学特論Ⅱ	2	英語意味論を中心に語用論、談話分析を加えて考察する。特に三者の相互関係に注意する。	中高
	言語学特論	2	最近の言語論の展望と言語学の中心課題について従来の言語理論との比較をふまえて論述する。	中高
	言語学特論演習	2	言語心理学、社会言語学の文献の講読を通してその成果を探り、英語教育への応用を検討する。	中高
英米文学	英文学特論Ⅰ	2	主要作家又はある時代の作家群を集中的に考究する。	中高
	英文学特論演習Ⅰ	2	文学史の時代区分に限定されることなく、文学ジャンル、テーマ又は研究方法等を含めた研究成果を発表し、ディスカッションをする。	中高
	英文学特論Ⅱ	2	主要作家又はある時代の作家群を集中的に考究する。	中高
	英文学特論演習Ⅱ	2	文学史の時代区分に限定されることなく、文学ジャンル、テーマ又は研究方法等を含めた研究成果を発表し、ディスカッションをする。	中高
	米文学特論Ⅰ	2	米文学の詩・小説・戯曲を集中的に考究する。	中高
	米文学特論演習Ⅰ	2	米文学の詩・小説・戯曲に関する研究成果を発表する。	中高
	米文学特論Ⅱ	2	米文学の詩・小説・戯曲を集中的に考究する。	中高
	米文学特論演習Ⅱ	2	米文学の詩・小説・戯曲に関する研究成果を発表する。	中高
英語科教育	英語科教育研究Ⅰ	2	外国語教育に関する研究方法の基礎理論について考察する。	中高
	英語科教育特論Ⅰ	2	外国語修得理論、外国語学習理論に関わる諸要因について考察する。	中高
	英語科教育特論演習Ⅰ	2	主要な外国語教授法について研究し、現実の教室での使用可能性について検討する。	中高

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
英語科教育	応用言語学特論Ⅰ	2	応用言語学に関する特定のテーマについて、文献を読むことにより、研究方法について考究する。	中高	
	英語科教育研究Ⅱ	2	外国語教育に関する研究方法、及び外国語教育論文作成法について考察する。	中高	
	英語科教育特論Ⅱ	2	外国語修得理論、外国語学習理論に基づき、英語科教材の開発方法について考察する。	中高	
	英語科教育特論演習Ⅱ	2	主要な外国語教授法について研究するとともに、国際理解教育、外国語教育政策、小学校英語教育などについて研究する。	中高	
	応用言語学特論Ⅱ	2	応用言語学に関する特定のテーマについての理論的背景に基づき研究課題を設定し、適切な研究手法を用いて実験データを収集、分析、そして様々な視点から考察を行う。	中高	
	応用言語学演習	2	英語教育と実践にかかわる諸問題について考察する。特に教室における言語学習と言語指導に焦点を置く。	中高	
分野	教育実践に関する科目	英語教育授業研究	2	英語科授業分析・診断の方法の研究と実践について考究する。	中高
		英語教育教材開発	2	シラバス理論、教材編成理論に基づく英語教材開発方法の研究及び実践について考究する。	中高
外	課題研究	課題研究Ⅰ	2	特定の研究テーマを設定し研究を深める。	
		課題研究Ⅱ	2		

## 2) 自然科学教育専修

## i) 数学教育領域

分野	授 業 科 目	単 位	概 要	教職課程
代 数 学	代数学特論A	2	群論, ホモロジー代数について講義する。	小
	代数学特論演習A	2	代数学特論Aの講義に関する演習を行う。	小
	代数学特論B	2	環論, 体論について講義する。	中高
	代数学特論演習B	2	代数学特論Bの講義に関する演習を行う。	中高
幾 何 学	幾何学特論A	2	グラフ理論について講義する。	小
	幾何学特論演習A	2	幾何学特論Aの講義に関する演習を行う。	小
	幾何学特論B	2	離散幾何学について講義する。	中高
	幾何学特論演習B	2	幾何学特論Bの講義に関する演習を行う。	中高
	離散数学特論A	2	基本的な離散構造について講義する。	小
	離散数学特論演習A	2	離散数学特論Aの講義に関する演習を行う。	小
	離散数学特論B	2	離散数学における種々の手法について講義する。	中高
	離散数学特論演習B	2	離散数学特論Bの講義に関する演習を行う。	中高
解 析 学 及 び 応 用 数 学	解析学特論A	2	実解析および関数解析学について講義する。	小
	解析学特論演習A	2	解析学特論Aの講義に関する演習を行う。	小
	解析学特論B	2	複素解析学について講義する。	中高
	解析学特論演習B	2	解析学特論Bの講義に関する演習を行う。	中高
	応用数学特論A	2	教理物理学, 微分方程式論について講義する。	小
	応用数学特論演習A	2	応用数学特論Aの講義に関する演習を行う。	小
	応用数学特論B	2	解析学の応用についての話題を選らんで講義する。	中高
	応用数学特論演習B	2	応用数学特論Bの講義に関する演習を行う。	中高



分野	授 業 科 目	単 位	概 要	教職課程	
解析学及び応用数学	情報数学特論A	2	情報理論について講義する。	小	
	情報数学特論演習A	2	情報数学理論Aに関する演習を行う。	小	
	情報数学特論B	2	情報理論の特定分野に関する講義を行う。	中高	
	情報数学特論演習B	2	情報数学特論Bに関する演習を行う。	中高	
数 学 科 教 育	数学教育学特論A	4	算数教育教材論について講義する。	小	
	数学教育学特論演習A	2	数学教育学特論Aの講義に関する演習を行う。	小	
	数学教育学特論B	4	数学教育教材論について講義する。	中高	
	数学教育学特論演習B	2	数学教育学特論Bの講義に関する演習を行う。	中高	
	数学教育学特論C	2	適宜テーマを設定して講義する。	中高	
分野共通専門科目	数学教育基礎論A	4	数学教育の基礎理論について講義する。	小	
	数学教育基礎論演習A	2	数学教育基礎論Aに関する演習を行う。	小	
	数学教育基礎論B	4	適宜テーマを設定して講義する。	中高	
	数学教育基礎論演習B	2	数学教育基礎論Bに関する演習を行う。	中高	
分野外	教育実践に関する科目	数学教育授業研究A	2	算数の授業について考究する。	小
		数学教育授業研究B	2	数学の授業について考究する。	中高
		数学教育教材開発A	2	算数の教材について考究する。	小
		数学教育教材開発B	2	数学の教材について考究する。	中高
	課題研究	課題研究 I	2	修士論文に関する指導を行う。	/
		課題研究 II	2	修士論文に関する指導を行う。	

ii) 理科教育領域

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
物理学	物理学特論A	2	小学校理科に関する熱・統計物理学や固体物理学について講義する。	小
	物理学特論演習A1	2	同上に関する文献の講読、演習を行う。	小
	物理学特論演習A2	2	演習A1の内容をさらに深めて演習を行う。	小
	応用物理学特論A	2	小学校理科に関連する材料工学やエネルギー材料について講義する。	小
	応用物理学特論演習A1	2	同上に関する文献の講読、演習を行う。	小
	応用物理学特論演習A2	2	演習A1の内容をさらに深めて演習を行う。	小
	物理学特論B	2	熱・統計物理学や固体物理学に関連する分野について講義する。	中高
	物理学特論演習B1	2	同上に関する文献の講読、演習を行う。	中高
	物理学特論演習B2	2	演習B1の内容をさらに深めて演習を行う。	中高
	応用物理学特論B	2	材料工学やエネルギー材料について講義する。	中高
	応用物理学特論演習B1	2	同上に関する文献の講読、演習を行う。	中高
	応用物理学特論演習B2	2	演習B1の内容をさらに深めて演習を行う。	中高
化学	有機化学特論A	2	小学校理科に関連する有機化学の反応や理論について講義する。	小
	有機化学特論演習A1	2	同上に関する文献の講読、演習を行う。	小
	有機化学特論演習A2	2	演習A1の内容をさらに深めて演習を行う。	小
	有機化学特論B	2	有機化合物の構造、反応、合成について講義する。	中高
	有機化学特論演習B1	2	有機化合物の構造、反応、合成に関する文献の講読、問題演習を行う。	中高
	有機化学特論演習B2	2	演習1の内容をさらに深めて演習を行う。	中高
	無機化学特論A	2	小学校理科（化学分野）に関連する無機化学の反応や理論について講義する。	小
	無機化学特論演習A1	2	同上に関する文献の講読及び問題演習を行う。	小
	無機化学特論演習A2	2	演習A1の内容をさらに深めて演習を行う。	小
	無機化学特論B	2	無機化学、分析化学、物理化学に関する基礎と応用について講義する。	中高
	無機化学特論演習B1	2	同上に関する文献の講読および問題演習を行う。	中高
	無機化学特論演習B2	2	演習B1の内容をさらに深めて演習を行う。	中高

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
生物学	動物分類生態学特論A	2	動物の生態, 分類, 系統, 生物地理に関する研究手法やデータの処理法を論ずる。	小
	動物分類生態学特論演習A1	2	同上に関する文献の講読を行い, 広く論議する。	小
	動物分類生態学特論演習A2	2	演習A1の内容をさらに深めて演習を行う。	小
	動物分類生態学特論B	2	動物の生態, 分類, 系統, 生物地理に関する研究手法やデータの処理法を論ずる。	中高
	動物分類生態学特論演習B1	2	同上に関する文献の講読を行い, 広く論議する。	中高
	動物分類生態学特論演習B2	2	演習B1の内容をさらに深めて演習を行う。	中高
	植物分類系統学特論A	2	植物分類学の方法論とその成果を基礎に小学校理科に関連する事象について講義する。	小
	植物分類系統学特論演習A1	2	同上に関する方法論と実験・調査への適用のため, 関連論文の講読及び実習を行う。	小
	植物分類系統学特論演習A2	2	演習A1の内容をさらに深めるため, 論文講読・実習等の演習を行う。	小
	植物分類系統学特論B	2	植物の多様性を理解するため, 植物分類学の方法論とその成果について講義する。	中高
	植物分類系統学特論演習B1	2	同上に関する方法論と実験・調査への適用のため, 関連論文の講読及び実習を行う。	中高
	植物分類系統学特論演習B2	2	演習B1の内容をさらに深めるため, 論文講読・実習等の演習を行う。	中高
地学	微古生物学特論A	2	微化石の分類及び古環境指示者としての役割について論じる。また教材化を提案する。	小
	微古生物学特論演習A1	2	微化石の研究の実際について解説し, 実習を行う。	小
	微古生物学特論演習A2	2	上記特論A及び演習A1に関連した文献の講読を行う。	小
	微古生物学特論B	2	微化石の分類, 生層序, 古生物地理, 古環境の指示者としての役割について論じる。	中高
	微古生物学特論演習B1	2	微化石の研究の実際について解説し, 実習も行う。	中高
	微古生物学特論演習B2	2	上記特論B及び演習B1に関連した文献の講読を行う。	中高
	地殻進化学特論A	2	変成岩類の形成プロセスについて理解し, 地殻進化過程を考察する。小学校教員にふさわしい理解力や解説力を培う。	小
	地殻進化学特論演習A1	2	始生代から現在に至る地殻形成過程及び大陸地殻の進化について岩石学的見地から最近の研究結果を交えて考察する。小学校教員にふさわしい理解力や解説力を培う。	小

分野	授 業 科 目	単位	概 要	教職課程
地 学	地殻進化学特論演習A2	2	地殻形成過程や大陸地殻の発達に関する研究論文を和訳し、実際の研究例を知ることで理解を深める。小学校教員にふさわしい理解力や解説力を培う。	小
	地殻進化学特論B	2	変成岩について岩石学的、構造地質学的見地からその形成プロセスを把握し地殻進化過程を考察する。	中高
	地殻進化学特論演習B1	2	始生代から現在に至る地殻形成過程及び大陸地殻の進化について岩石学的見地から最近の研究結果を交えて考察する。	中高
	地殻進化学特論演習B2	2	地殻形成過程や大陸地殻の発達に関する研究論文を和訳し、実際の研究例を知ることで理解を深める。また、英語による記述や表現を習得する。	中高
理 科 教 育	理科教育特論A1	2	小学校における自然科学教育（主に物質・エネルギー分野）に関連する諸研究、諸実験等について概説する。	小
	理科教育特論演習A1	2	小学校における自然科学教育（主に物質・エネルギー分野）に関連する諸研究、諸実験等について、文献講読や観察・実験、演習を行う。	小
	理科教育特論B1	2	中学校・高等学校理科教育（主に第一分野）に関連する諸研究、諸実験等について概説する。	中高
	理科教育特論演習B1	2	中学校・高等学校理科教育（主に第一分野）に関連する諸研究、諸実験等について、文献講読や観察・実験、演習を行う。	中高
	理科教育特論A2	2	小学校理科「生命・地球」領域における沖縄県の自然の特徴を生かした授業について考察する。	小
	理科教育特論演習A2	2	小学校理科「生命・地球」領域において沖縄県の自然の特徴を生かした授業実践に関する演習を行う。	小
	理科教育特論B2	2	中学校理科第2分野の地質・天文・海洋生物に関連する単元において、沖縄県の自然の特徴を生かした授業について考究する。	中高
	理科教育特論演習B2	2	中学校理科第2分野の地質・天文・海洋生物に関する単元において、沖縄県の自然の特徴を生かした授業実践に関する演習を行う。	中高
共 通	理科教育特別講義A1	2	自然科学各分野のテーマを適宜設定して講義する。	
	理科教育特別講義A2	2	自然科学各分野のテーマを適宜設定して講義する。	
	理科教育特別講義B1	2	自然科学各分野のテーマを適宜設定して講義する。	
	理科教育特別講義B2	2	自然科学各分野のテーマを適宜設定して講義する。	

分野		授業科目	単位	概要	教職課程
分野外	教育実践に関する科目	理科教育実践研究A1	2	小学校の理科教育に関する実践事例を調査・分析し、理科教育を実践するために必要な基礎的な考え方や方法について考察する。	小
		理科教育実践研究A2	2	小学校理科について、計画と実践、分析を繰り返しながら、自分の専門知識を生かした授業づくりに取り組む。	小
		理科教育実践研究B1	2	中学校・高校の理科教育に関する実践事例を調査・分析し、理科教育を実践するために必要な基礎的な考え方や方法について考察する。	中高
		理科教育実践研究B2	2	中学校・高校理科について、計画と実践、分析を繰り返しながら、自分の専門知識を生かした授業づくりに取り組む。	中高
	課題研究	課題研究Ⅰ	2	各専門分野について、特定のテーマを設定し研究を深め、修士論文の作成指導にあたる。	
		課題研究Ⅱ	2	各専門分野について、特定のテーマを設定し研究を深め、修士論文の作成指導にあたる。	

3) 芸術表現教育専修

i) 音楽教育領域

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
声 楽	声楽特論A I	2	幼稚園及び小学校教諭として音楽性を高めるために、ドイツ、イタリア、フランス、スペイン等の作品を取り上げて分析、解釈、考究し、併せて作曲家論の深化を図る。又、音と言葉の関係について、国民性や民族性、文化構造、価値観等を視野に入れて考究する。	小
	声楽特論演習A I	2	声楽特論A Iの研究に基づき、演奏を通して、声楽表現の可能性を演習し追及する。	小
	声楽特論A II	2	幼稚園及び小学校教諭として音楽性を高めるために、ドイツ、イタリア、フランス、スペイン等の作品を取り上げて分析、解釈、考究し、併せて作曲家論の深化を図る。又、音と言葉の関係について、国民性や民族性、文化構造、価値観等を視野に入れて考究する。	小
	声楽特論演習A II	2	声楽特論演習A Iに引き続き、さらに声楽特論A IIの研究に基づき、演奏を通して、声楽表現の可能性を演習し追及する。	小
	声楽特別研究A	2	ミュージカルについて研究する。ミュージカルを総合舞台芸術的集団活動の観点からとらえ、その制作プロセスや上演法・組織運営法について、また作品について、分析、考究し演習する。	小
	声楽特論B I	2	ドイツ、イタリア、フランス、スペイン等の作品を取り上げて分析、解釈、考究し、併せて作曲家論の深化を図る。又、音と言葉の関係について、国民性や民族性、文化構造、価値観等を視野に入れて考究する。	中高
	声楽特論演習B I	2	声楽特論B Iの研究に基づき、演奏を通して、声楽表現の可能性を演習し追及する。	中高
	声楽特論B II	2	声楽特論B Iに引き続き、さらにドイツ、イタリア、フランス、スペイン等の作品を取り上げて分析、解釈、考究し、併せて作曲家論の深化を図る。又、音と言葉の関係について、国民性や民族性、文化構造、価値観等を視野に入れて考究する。	中高
	声楽特論演習B II	2	声楽特論B IIの研究に基づき、演奏を通して、声楽表現の可能性を演習し追及する。	中高
	声楽特別研究B	2	声楽特別研究にAに引き続き、さらにミュージカルについて研究する。ミュージカルを総合舞台芸術的集団活動の観点からとらえ、その制作プロセスや上演法・組織運営法について、また作品について、分析、考究し演習する。	中高

分野	授 業 科 目	単位	概 要	教職課程
器  楽	器楽特論 A I (鍵盤楽器)	2	幼稚園および小学校教諭として知識を高めるために、各国(東欧、中欧、西欧、南欧、中南米)の文化、国民性にも注目しながら音楽史を踏まえ、それぞれの時代の様式を探る。	小
	器楽特論演習 A I (鍵盤楽器)	2	器楽特論 A I の研究に基づき、東欧・中欧・西欧・南欧・中南米の各国の文化、国民性に注目しながら音楽史を踏まえ、その楽器の演奏を通してそれぞれの時代、国民性による表現の多様性を探る。	小
	器楽特論 B I (鍵盤楽器)	2	器楽特論 A I の研究を踏まえ、広く世界の文化と歴史に注目しながら多様な表現をより深く研究する。	中高
	器楽特論演習 B I (鍵盤楽器)	2	器楽特論 B I の研究に基づき、実際の演奏を通して、その多様な表現を追求する。	中高
	器楽特論 A II (弦楽器)	2	幼稚園及び小学校教諭として音楽性を高める為に、器楽教育の必要性が音楽教師にとって、今や最も直面した現実である。その歴史の変遷や導入の方法等の諸問題について研究する。	小
	器楽特論演習 A II (弦楽器)	2	器楽特論 A II の研究に基づき、演奏を通して、楽器による表現の可能性を演習し追求する。	小
	器楽特論 B II (弦楽器)	2	器楽教育の必要性が音楽教師にとって、今や最も直面した現実である。その歴史の変遷や導入の方法等の諸問題について研究する。	中高
	器楽特論演習 B II (弦楽器)	2	弦楽器の全般について、その機能や特性を比較対照しながら高度な演奏表現を演習する。	中高
	器楽特別研究 A	2	ピアノを含むアンサンブル、更にピアノの伴奏楽器としての役割等を考察し、独奏とは異なる観点から演奏上の諸問題を研究する。更に教育機器としてのピアノカ及びアコーディオン導入の可能性も考察する。	小
	器楽特別研究 B	2	ピアノを含むアンサンブル、更にピアノの伴奏楽器としての役割等を考察し、独奏とは異なる観点から演奏上の諸問題を研究する。更に教育機器としてのピアノカ及びアコーディオン導入の可能性も考察する。	中高
作 曲  ・  指 揮	作曲特論 A	2	幼稚園及び小学校教諭として表現力を高める為に、19C～21Cの諸音楽を作曲技法・演奏様式の視点から分析・鑑賞し、それらの様式を体系的に理解する。併せてそれらの音楽の背景となる文化構造も視野に入れながら、多様な角度から音楽作品の成立の仕方と特徴を研究する。	小
	作曲特論演習 A I	2	幼稚園及び小学校教諭として表現力を高める為に、管弦楽法・楽式論・和声学の演習を通し、作曲技法を学ぶ。併せて学校音楽教材への分析的・作編曲的アプローチの方法を確立する。	小

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
作曲・指揮	作曲特論演習A II	2	幼稚園及び小学校教諭として表現力を高める為に、作曲特論及び特論演習 I で論及・演習した内容に基づき、各種演奏形態の楽曲を作曲し、高度な創作能力を養う。	小
	作曲特論B	2	19C～21Cの諸音楽を作曲技法・演奏様式の視点から分析・鑑賞し、それらの様式を体系的に理解する。併せてそれらの音楽の背景となる文化構造も視野に入れながら、多様な角度から音楽作品の成立の仕方と特徴を研究する。	中高
	作曲特論演習B I	2	管弦楽法・楽式論・和声学の演習を通し、作曲技法を学ぶ。併せて学校音楽教材への分析的・作編曲的アプローチの方法を確立する。	中高
	作曲特論演習B II	2	作曲特論及び特論演習 I で論及・演習した内容に基づき、各種演奏形態の楽曲を作曲し、高度な創作能力を養う。	中高
音楽学	音楽学特論A	2	幼稚園及び小学校教諭として論理性を高める為に、音楽が社会的文脈でどのように成立し、また、どのような存在意義を有しているかを民族音楽学・音楽史・音楽社会学の知見に学びながら研究する。	小
	音楽学特論演習A I	2	幼稚園及び小学校教諭として論理性を高める為に、特定領域の音楽学をその歴史と文化背景から演習し、分析と鑑賞法の研究を行う。	小
	音楽学特論演習A II	2	幼稚園及び小学校教諭として論理性を高める為に、音楽学特論及び特論演習 I で研究した内容に基づき、教育現場での実践的な活用およびその分析を行う。	小
	音楽学特論B	2	音楽が社会的文脈でどのように成立し、また、どのような存在意義を有しているかを民族音楽学・音楽史・音楽社会学の知見に学びながら研究する。	中高
	音楽学特論演習B I	2	特定領域の音楽学をその歴史と文化背景から演習し、分析と鑑賞法の研究を行う。	中高
	音楽学特論演習B II	2	音楽学特論及び特論演習 I で研究した内容に基づき、教育現場での実践的な活用およびその分析を行う。	中高
音楽科教育	音楽科教育特論A	2	幼稚園及び小学校教諭として指導力を高める為に、わが国の音楽教育の歴史的展開を概観し、その理念、内容、教材、方法などについて主に文化論的な視点から考察する。	小
	音楽科教育特論演習A	2	幼稚園及び小学校教諭として指導力を高める為に、音楽科教育特論で検討した内容をふまえ、戦後の音楽教育の主要なトピックスの中からいくつかとりあげて詳細に史実を検討するとともに、その歴史的な意味について考察する。	小
	音楽科教育特論B	2	わが国の音楽教育の歴史的展開を概観し、その理念、内容、教材、方法などについて主に文化論的な視点から考察する。	中高



分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
音楽科教育	音楽科教育特論演習B	2	音楽科教育特論で検討した内容をふまえ、戦後の音楽教育の主要なトピックスの中からいくつかとりあげて詳細に史実を検討するとともに、その歴史的な意味について考察する。	中高	
	音楽科教育研究法A	2	幼稚園及び小学校教諭として指導力を高める為に、日本内外の音楽教育哲学や思潮を歴史的に概観し、それらに基づく教育方法を比較分析し、日本に於ける音楽教育の在り方を考察する。	小	
	音楽科教育研究法演習A	2	幼稚園及び小学校教諭として指導力を高める為に、世界で実践されている様々な音楽指導方法の演習を行う。	小	
	音楽科教育研究法B	2	日本内外の音楽教育哲学や思潮を歴史的に概観し、それらに基づく教育方法を比較分析し、日本に於ける音楽教育の在り方を論ずる。	中高	
	音楽科教育研究法演習B	2	世界で実践されている様々な音楽指導方法を実践的に経験し、日本に於ける新しい音楽教育の指導法と教材開発を研究する。	中高	
分野外	教育実践に関する科目	音楽科授業研究A	2	幼稚園及び小学校教諭として指導力を高める為に、音楽科における授業構成の方法論、授業研究の対象、授業モデルとその構成要因などについて考察する。	小
		音楽科授業研究B	2	音楽科における授業構成の方法論、授業研究の対象、授業モデルとその構成要因などについて考察する。	中高
		音楽科教材開発A	2	幼稚園及び小学校教諭として指導力を高める為に、音楽科における教材の新しい開発事項や開発方法について研究指導する。	小
		音楽科教材開発B	2	音楽科における教材の新しい開発事項や開発方法について研究指導する。	中高
分野外	課題研究	課題研究Ⅰ	1	修士論文に直結する研究であり、学校教諭としての総合力を高める為に、学生各自の研究課題について教員は個人指導方式で助言を行う。	
		課題研究Ⅱ	1		
		課題研究Ⅲ	1		
		課題研究Ⅳ	1		

ii) 美術教育領域

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
絵  画	幼小絵画特論 I	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、絵画分野を中心に現代美術の諸問題について理論研究を行う。	小
	幼小絵画特論演習 I	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	幼小絵画特論 II	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、絵画分野を中心に現代美術の諸問題について理論研究を行う。	小
	幼小絵画特論演習 II	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	絵画特論 I	2	美術史的観点を踏まえ「美術」の制度性について考察しつつ、絵画分野を中心に現代美術の諸問題について理論研究を行う。	中・高 (美術)
	絵画特論演習 I	2	上記の研究に基づく演習を行う。	中・高 (美術)
	絵画特論 II	2	日本美術を含む東アジア美術の特性を考察しつつ、絵画分野を中心に現代美術の諸問題について理論研究を行う。	中・高 (美術)
	絵画特論演習 II	2	上記の研究に基づき演習を行う。	中・高 (美術)
彫  刻	幼小彫刻特論 I	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、表現活動を彫刻及び人類文化の流れと共に考察する。	小
	幼小彫刻特論演習 I	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	幼小彫刻特論 II	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、現代社会における美術の在り方について彫刻分野を中心に考究する。	小
	幼小彫刻特論演習 II	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	彫刻特論 I	2	表現活動を彫刻及び人類文化の流れと共に考察する。	中・高 (美術)
	彫刻特論演習 I	2	上記研究に基づく演習を行う	中・高 (美術)
	彫刻特論 II	2	現代社会における美術の在り方について彫刻分野を中心に考究する。	中・高 (美術)
	彫刻特論演習 II	2	上記研究に基づく演習を行う	中・高 (美術)
	総合表現特論 A	2	美術の各分野にまたがる諸問題について考究する。	中・高 (美術)
デ  ザ  イ  ン	幼小デザイン特論 I	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、環境とデザイン・芸術表現の諸問題について地球的視野から考察する。	小
	幼小デザイン特論演習 I	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	幼小デザイン特論 II	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、現代社会における芸術とデザインの意義について考察する。	小
	幼小デザイン特論演習 II	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
デザイン	デザイン特論A I	2	現代アートとデザインに関する諸問題について考究する。	中・高(美術) 高(工芸)
	デザイン特論演習A I	2	上記特論に基づいた演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	デザイン特論A II	2	地域デザインに関する理論的研究を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	デザイン特論演習A II	2	上記特論に基づいた演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	デザイン特論B I	2	現代社会において芸術とデザインの意義について考究する。	中・高(美術) 高(工芸)
	デザイン特論演習B I	2	上記研究に基づいた演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
工芸	幼小陶芸特論 I	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、陶芸表現の可能性について考察を行う。	小
	幼小陶芸特論演習 I	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、陶芸表現の可能性について実技、理論の双方から考察を行う。	小
	幼小陶芸特論 II	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、陶芸表現の可能性について考察を行う。	小
	幼小陶芸特論演習 II	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、陶芸表現の可能性について実技、理論の双方から考察を行う。	小
	陶芸特論 I	2	芸術表現における陶芸領域の可能性について、考察を行う。	中(美術) 高(工芸)
	陶芸特論演習 I	2	芸術表現における陶芸領域の可能性について、実技、理論の双方から考察を行う。	中(美術) 高(工芸)
	陶芸特論 II	2	芸術表現における陶芸領域の可能性について、考察を行う。	中(美術) 高(工芸)
	陶芸特論演習 II	2	芸術表現における陶芸領域の可能性について、実技、理論の双方から考察を行う。	中(美術) 高(工芸)
	幼小織染特論 I	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、織染制作における素材と表現の関わり合いについて考察する。	小
	幼小織染特論演習 I	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	幼小織染特論 II	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、織染織文化について総合的に考察する。	小
	幼小織染特論演習 II	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	織染特論 I	2	織染制作における素材と表現の関わり合いについて考察する。	中(美術) 高(工芸)
	織染特論演習 I	2	上記研究に基づく演習を行う。	中(美術) 高(工芸)
	織染特論 II	2	織染文化について総合的に考察する。	中(美術) 高(工芸)
	織染特論演習 II	2	上記研究に基づく演習を行う。	中(美術) 高(工芸)

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
美術理論 ・ 美術史	幼小美術理論・美術史特論Ⅰ	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、美術理論・美術史に関する基礎理論の体系的な研究能力を養う。	小
	幼小美術理論・美術史特論演習Ⅰ	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	幼小美術理論・美術史特論Ⅱ	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高める基礎となるよう、美術理論・美術史に関する基礎理論の体系的な研究能力を養う。	小
	幼小美術理論・美術史特論演習Ⅱ	2	上記の研究に基づく演習を行う。	小
	美術理論・美術史特論Ⅰ	2	美術理論・美術史に関する基礎理論の体系的な研究能力を養う。	中・高(美術) 高(工芸)
	美術理論・美術史特論演習Ⅰ	2	上記研究に基づく演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	美術理論・美術史特論Ⅱ	2	美術理論・美術史に関する基礎理論の体系的な研究能力を養う。	中・高(美術) 高(工芸)
	美術理論・美術史特論演習Ⅱ	2	上記研究に基づく演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	総合表現特論B	2	美術の各分野にまたがる諸問題について考究する。	中・高(美術) 高(工芸)
	総合表現特論C	2	美術の各分野にまたがる諸問題について考究する。	中・高(美術) 高(工芸)
	総合表現特論演習B	2	総合表現特論Bに基づく演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	総合表現特論演習C	2	総合表現特論Cに基づく演習を行う。	中・高(美術) 高(工芸)
	美術科教育	幼小美術教育特論	2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高めるため、美術教育の目標、内容、教育方法等について考察し、表現教育に関わる教師の在り方を追及する。
幼小美術教育基礎論		2	幼稚園及び小学校教諭としての力量を高めるため、美術教育の基礎理論について諸考究を行う。	
幼小美術教育特論演習		2	幼小美術教育特論に基づく演習を行う。	
幼小美術教育授業研究演習		2	幼小美術教育授業研究に基づく演習を行う。	
幼小美術教育教材開発演習		2	幼小美術教育教材開発に基づく演習を行う。	
美術教育特論		2	美術教育の目標、内容、教育方法等について考察し、表現教育に関わる教師の在り方を追及する。	
美術教育基礎論		2	美術教育の基礎理論について諸考究を行う。	
美術教育特論演習		2	美術教育特論に基づく演習を行う。	

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
美術科教育	美術教育授業研究演習	2	美術教育授業研究に基づく演習を行う。	
	美術教育教材開発演習	2	美術教育教材開発に基づく演習を行う。	
	工芸教育特論	2	工芸教育の目標、内容、教育方法等について考察し、工芸教育に関わる教師の在り方を追及する。	
	工芸教育基礎論	2	工芸教育の基礎理論について諸考究を行う。	
	工芸教育授業研究演習	2	工芸教育授業研究に基づく演習を行う。	
	工芸教育特論演習	2	工芸教育特論に基づく演習を行う。	
	工芸教育教材開発演習	2	工芸教育教材開発に基づく演習を行う。	
分野外	幼小造形芸術特論Ⅰ	2	造形芸術の広範な領域から特定の課題を設定し考究を行う。	
	幼小造形芸術特論Ⅱ	2		
	幼小造形芸術実技Ⅰ	2	造形芸術の広範な領域から特定の課題を設定し実技を行う。	
	幼小造形芸術実技Ⅱ	2		
	幼小造形教育特論Ⅰ	2	造形教育の理論について特定の課題を設定し考究を行う。	
	幼小造形教育特論Ⅱ	2		
	造形芸術特論Ⅰ	2	造形芸術の広範な領域から特定の課題を設定し考究を行う。	
	造形芸術特論Ⅱ	2		
	造形芸術実技Ⅰ	2	造形芸術の広範な領域から特定の課題を設定し実技を行う。	
	造形芸術実技Ⅱ	2		
	造形教育特論Ⅰ	2	造形教育の理論について特定の課題を設定し考究を行う。	
	造形教育特論Ⅱ	2		

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
分野外	教育実践に関する科目	幼小美術教育授業研究	2 幼稚園及び小学校教諭としての力量を高めるため、子ども達を取り巻くさまざまな文化やコミュニケーションの成り立ち等も含めて考察するとともに、新たな授業実践の可能性を探求する。		
		幼小美術教育教材開発	2 幼稚園及び小学校教諭としての力量を高めるため、美術教育の教材について研究を行う。		
		美術教育授業研究	2 教科としての美術教育の在り方を学校教育全体の営みの中でとらえ直し、子ども達を取り巻くさまざまな文化やコミュニケーションの成り立ち等も含めて考察するとともに、新たな授業実践の可能性を探求する。		
		美術教育教材開発	2 美術教育の教材について研究を行う。		
		工芸教育授業研究	2 工芸教育の新たな授業実践の可能性を探求する。		
		工芸教育教材開発	2 工芸教育の教材について研究を行う。		
	課題研究	課題研究Ⅰ	2	各分野のより高度で専門的な研究を行い、学位論文、制作に結びつける。	
		課題研究Ⅱ	2		

4) 生活科学教育専修

i) 技術教育領域

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
電	電磁波工学特論	2	電磁波（マイクロ波，光を含む）は，ラジオに始まり，無線通信・光ファイバ通信，各種センサ，レーダ，及び医療応用など，極めて広範囲で活用されており，近年では携帯電話の普及で児童生徒にも身近なものとなっている。本講義では，電磁波に関する基礎知識，電磁環境から電磁波工学の基礎的な理論について具体的系統的に扱うと共に，電磁波を用いた教材開発についても講述する。	中（技術） 高（工業）
	制御工学特論	2	伝達関数やフィードバック制御を中心とした古典制御理論の講義を主とし，オープンソースの数値計算ソフトウェアを用いながら制御システムの設計・解析を行う。また，PIC（Iチップマイコン）を用いた計測制御教材についても扱う。	中（技術） 高（工業）
	電子応用工学特論	2	電子工学と機械工学を融合したメカトロニクスの構成要素であるセンサ、アクチュエータ、機械機構とその制御方法について後述し，簡単な電子機器教材の設計・製作についても開設する。	中（技術） 高（工業）
	量子電子工学特論	2	現代の半導体技術を講述する。すなわち，キャリア輸送現象および深い不純物レベル，表面・界面における電子物性等を略述し，半導体の電導理論を解説する。さらに，集積回路の製造技術を解説し，その回路解析をSPICE，レイアウトをCADを用いて実習する。	中（技術） 高（工業）
気	デジタル通信工学特論演習	2	デジタル通信の基礎である高周波技術，デジタル変復調技術，フレーム処理／誤り訂正の技術について講義，演習を行う。また，デジタル放送，携帯電話，ワイヤレスネットワーク等への応用について解説する。また，A/D，D/A変換について実験を行う。	中（技術） 高（工業）
	計算機工学特論	2	情報認識について講述する。すなわち計算機の新しいアーキテクチャとオペレーティングシステムについて解説し，画像・音声等に関連した認識技術，フィルタリング技術の講義，演習を行う。また，音声合成等に関しても解説，実習を行う。	中（技術） 高（工業）
	知能情報処理特論演習	1	マイコンの機能を利用した周辺装置との通信や液晶のコントロール，アナログ信号の入力など，計測機器の製作に必要な知識の解説およびプログラミング演習を行う。	中（技術） 高（工業）
	人工知能工学特論演習	1	人工知能の基礎である探索，推論，プランニングの理論について講義，演習を行う。また，画像認識，自然言語処理，自動翻訳，運動制御などの分野への応用についても解説する。	中（技術） 高（工業）

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
機 械	計測技術特論	2	実験データの解析および変位, 流量, 圧力, 温度の各種測定法について考究する。	中 (技術) 高 (工業)	
	計測技術特論演習	1	計測における目標設定能力を高めるため, 種々の制限条件を分析的にとらえ, 具体的な測定計画の立案実習を行う。	中 (技術) 高 (工業)	
	熱工学特論	2	流動と熱伝達について講述するとともに, これに関連する内外の文献を講読する。	中 (技術) 高 (工業)	
	熱工学特論演習	1	熱工学に関する具体的な測定計画の立案・実習を行う。	中 (技術) 高 (工業)	
	エネルギー変換工学特論	2	エネルギー・資源, エネルギー変換等に関連する内外の文献を講読する。	中 (技術) 高 (工業)	
	エネルギー変換工学特論演習	1	種々のエネルギー変換に関する演習を行う。	中 (技術) 高 (工業)	
技 術 科 教 育	技術教育特論 I	2	技術科教育の目標, 内容論, 方法論, 教材論などについて論述する。	中 (技術) 高 (工業)	
	技術教育特論演習 I	1	文献の講読を通して, 技術科教育の諸問題について考察する。	中 (技術) 高 (工業)	
	教材教具開発演習	2	技術科教育の目標, 内容, 方法などの観点から, 最適な教材や教具の開発を行う。	中 (技術) 高 (工業)	
	技術教育特論 II	2	技術科教育における各領域の教材・教具の分析を行い, 実践的カリキュラムおよび指導法の研究開発を行う。	中 (技術) 高 (工業)	
	技術教育特論演習 II	1	海外の技術教育カリキュラム論に関する文献を講読する。	中 (技術) 高 (工業)	
	安全工学特論	2	技術科実習室における安全作業法, 災害の原因, 事故防止法, 保護具等について述べる。	中 (技術) 高 (工業)	
分 野	教育 実践 科目 に 関	技術教育授業研究	2	国内外の技術科教育のすぐれた実践例を分析研究をする。	中 (技術) 高 (工業)
		技術教育教材開発	2	技術科の内容に関する教材の開発及び活用について実証的研究をする。	中 (技術) 高 (工業)
外	課 題 研 究	課題研究 I	1	自己の専門分野について, 特定の研究テーマを設定し研究を深める。	
		課題研究 II	1	自己の専門分野について, 特定の研究テーマを設定し研究を深める。	
		課題研究 III	1	自己の専門分野について, 特定の研究テーマを設定し研究を深める。	
		課題研究 IV	1	自己の専門分野について, 特定の研究テーマを設定し研究を深める。	



ii) 家政教育領域

分野	授 業 科 目	単位	概 要	教職課程
調 理 学	小学校調理学特論	2	小学校の家庭科教育の視点から日本・沖縄の食生活の変遷及び文化史的背景について考究する。	小
	小学校調理学特論演習	2	小学校調理学特論に関する文献・史料の講読及び事例研究。	小
	調理学特論 I	2	食事文化の視点から日本・沖縄の食生活の変遷および文化史的背景について考究する。	中高
	調理学特論演習 I	2	調理学特論 I に関する文献・史料の講読および事例研究。	中高
	調理学特論 II	2	沖縄特産食品の調理機能特性，琉球料理の特徴，系譜および体系化について考究する。	中高
	調理学特論演習 II	2	調理学特論 II に関する文献・史料の講読および事例研究。	中高
被 服 学	小学校被服学特論	2	小学校家庭科被服領域の被服の役割と着方，手縫いとミシン縫い等について考究する。	小
	小学校被服学特論演習	2	小学校被服学特論に関する文献講読・討論をふまえ，衣生活に関する事例研究を行う。	小
	被服学特論 I	2	健康と衣生活，衣服の変遷，世界の衣服について，気候風土，歴史，社会，文化との関連で論述する。	中高
	被服学特論演習 I	2	被服学特論 I に関する文献講読および事例研究。	中高
	被服学特論 II	2	沖縄で古くから行われてきた染織の歴史的・文化的推移と，琉球王朝時代から近代へと変化する人々の装いについても，その時代背景をもとに論述する。	中高
	被服学特論演習 II	2	被服学特論 II に関する文献講読および事例研究。	中高
住 居 学	住まい学特論	2	小学校家庭科の住まいの領域を中心として，住まいの計画と住まい方について考究する。	小
	住まい学特論演習	2	住まい学特論に関連する文献講読及び討論を踏まえて，各自で設定したテーマについて事例研究を行う。	小
	住居学特論	2	住居形態を決定する様々な要因について，気候，風土的側面を中心に具体的事例を通して考察する。	中高
	住居学特論演習	2	住居計画の技術を習得するための事例調査等にもとづく演習を行う。	中高
	住生活学特論	2	多様化する家族形態やライフステージに対応した住生活と住宅計画のあり方について考察する。	中高
	住生活学特論演習	2	住生活学特論に関連する文献講読及び事例研究を行う。	中高

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
家庭管理学	小学校生活経営学・経済学特論	2	消費者教育の目的, 対象, 方法について考究する。	小	
	小学校生活経営学・経済学特論演習	2	小学校生活経営学・経済学特論での理論的学習を踏まえて, 各自が持っているテーマを関連づけた内容について, 調査・研究する。	小	
	生活経営学・経済学特論Ⅰ	2	消費者問題, 消費者運動, 消費者教育について生活者の立場から考究する。	中高	
	生活経営学・経済学特論演習Ⅰ	2	消費者問題, 消費者運動, 消費者教育に関する国内外文献の講読と討論を行う。	中高	
	生活経営学・経済学特論Ⅱ	2	生活経営学・経済学に関する基礎的理論について考究する。	中高	
	生活経営学・経済学特論演習Ⅱ	2	生活経営学・経済学に関する国内外文献の講読と討論を行う。	中高	
家庭科教育	小学校家庭科教育特論Ⅰ	2	小学校家庭科教育について総合的な観点から考究する。	小	
	小学校家庭科教育特論演習Ⅰ	2	小学校家庭科教育特論Ⅰに関する論文講読を行う。	小	
家庭科教育	家庭科教育特論Ⅰ	2	家庭科教育について総合的な観点から考究する。	中高	
	家庭科教育特論演習Ⅰ	2	家庭科教育特論Ⅰに関する論文講読を行う。	中高	
	小学校家庭科教育特論Ⅱ	2	小学校家庭科について国内外の研究をもとに, 今後の家庭科教育について考究する。	小	
	小学校家庭科教育特論演習Ⅱ	2	小学校家庭科教育特論Ⅱに関する論文講読と討論を行う。	小	
	家庭科教育特論Ⅱ	2	中・高等学校(専門学校を含む)における研究等をもとに, 今後の家庭科教育について考究する。	中高	
	家庭科教育特論演習Ⅱ	2	家庭科教育特論Ⅱに関する論文講読と討論を行う。	中高	
分野	教育実践に関する科目	小学校家政教育授業研究	2	小学校で実際に行われている授業を基に, 家庭科の授業について実践的に考究する。	小
		家政教育授業研究	2	中・高等学校で実際に行われている授業を基に, 家庭科の授業について実践的に考究する。	中高
		小学校家政教育教材開発	2	小学校家庭科の各領域の教材開発および活用について実践的に研究する。	小
		家政教育教材開発	2	家庭科の各領域の教材開発および活用について実践的に研究する。	中高
外	課題研究	課題研究Ⅰ	1	各専門分野について, 特定の研究テーマを設定し, 研究を深める。	/
		課題研究Ⅱ	1		
		課題研究Ⅲ	1		
		課題研究Ⅳ	1		

5) 保健体育専修

分野	授業科目	単位	概要	教職課程
保健体育科教育学	保健体育科教育特論Ⅰ	2	体育科教育の歴史及び現状を認識しつつ将来展望を構造的に捉え、生涯学習を視野に入れた体育科教育のあり方、目標、内容、カリキュラムを体系的に講述する。	中高
	保健体育科教育特論ⅠA	2		小
	保健体育科教育特論演習Ⅰ	2	体育科教育における実践研究を、教育実習、文献、資料を通して多角的に追求する。	中高
	保健体育科教育特論演習ⅠA	2		小
	保健体育科教育特論Ⅱ	2	ヘルスプロモーションの立場に立って「行動変容モデル」を適用した学校健康教育のあり方について追及する。	中高
	保健体育科教育特論ⅡA	2		小
	保健体育科教育特論演習Ⅱ	2	国内外の「健康教育」に関する文献・資料について分析し、「保健行動(実践)」の観点から教材づくりをはかる。	中高
	保健体育科教育特論演習ⅡA	2		小
体育学	体育学特論Ⅰ	2	運動学習に関わるスポーツに対する内発的動機づけの問題を体育・スポーツ心理学の領域から論究する。	中高
	体育学特論ⅠA	2		小
	体育学特論演習Ⅰ	2	体育・スポーツに関する内外で開発された心理検査を用いた調査分析及び活用法を演習し、スポーツ行動の心理的適性の問題を明らかにするための事例研究を行う。	中高
	体育学特論演習ⅠA	2		小
	体育学特論Ⅱ	2	体育・スポーツに関する諸問題、特に生涯スポーツのあり方について、歴史学的、社会学的視点より論究し、スポーツの持つ意味について理解を深める。	中高
	体育学特論ⅡA	2		小
	体育学特論演習Ⅱ	2	体育・スポーツに関する諸問題について、歴史学、社会学の立場からフィールドワーク及び文献講読等を通して検討する。	中高
	体育学特論演習ⅡA	2		小
運動学	運動学特論Ⅰ	2	スポーツ運動の観察・分析・評価の方法を、代表的ないくつかの球技スポーツを題材にして検討するとともに、チームマネージメント及びスポーツコーチングの具体的方法とその問題点を明らかにして、競技指導研究のための基礎を形成する。	中高
	運動学特論ⅠA	2		小
	運動学特論演習Ⅰ	2	スポーツ競技の戦術理論及びその競技を構成する技術・戦術・体力の指導法を研究することによって、ジュニアレベルからナショナルレベルのコーチングについて学習する。また実際の指導的立場でのコーチングテクニックに関しても実習する。	中高
	運動学特論演習ⅠA	2		小
	運動学特論Ⅱ	2	運動による生体諸機能の変化の生理学的機序について考究し、さらに科学的根拠に基づく運動法(トレーニング法、運動処方)について論ずるとともに、その教育現場での応用について考察する。	中高
	運動学特論ⅡA	2		小
	運動学特論演習Ⅱ	2	「運動学特論Ⅱ」に関連する文献講読、ならびに実験を通して、児童・生徒を中心とする若年者の運動時の生理的応答について研究・討議する。	中高
	運動学特論演習ⅡA	2		小

分野	授業科目	単位	概要	教職課程	
運動学	運動学特論Ⅲ	2	陸上競技に関して、運動学的立場から考察する。	中高	
	運動学特論演習Ⅲ	2	運動学特論Ⅲに関する文献研究及び演習を行う。	中高	
学校保健学	学校保健学特論Ⅰ	2	児童・生徒の心身の健康問題について論じ、指導及びケアのあり方を学校保健学の立場から考察する。また、予防医学の観点から、疫学および生物学統計の基礎を学ぶ	中高	
	学校保健学特論ⅠA	2		小	
	学校保健学特論演習Ⅰ	2		中高	
	学校保健学特論演習ⅠA	2		小	
	学校保健学特論Ⅱ	2	学校保健に関する現代的課題について、文献検討およびヘルスプロモーションスクールの理念に基づき熟考する	中高	
	学校保健学特論ⅡA	2		小	
	学校保健学特論演習Ⅱ	2	学校保健に関する現代的課題解決の方策を検討し、演習を含め高度な実践力について熟考する	中高	
	学校保健学特論演習ⅡA	2		小	
分野外	教育実践科目に 関する実践科目	保健体育科授業研究	2	保健体育の授業の方法論と学習内容の追求、学習者の学習意識や意欲の把握など、授業分析論を基盤として教授・学習法を検討する。	中高
		保健体育科授業研究A	2		小
	課題研究	保健体育科教材開発	2	保健体育教育の目的、役割を究明するとともに、学習者の欲求、能力や学習課題に応じた新しい教材を探究する。	中高
		保健体育科教材開発A	2		小
	課題研究	課題研究Ⅰ	2	修士論文作成に直結する課題について高度な研究を行う。現職教員には、教員実践を通して問題意識に十分留意して指導する。	
		課題研究Ⅱ	2		